

もいのにぎわい通信

2025 年 4 月 26 日 定例活動報告

.....

日時：2025 年 4 月 26 日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴れ 気温 13℃～19℃ 湿度 59% 風向 南東風速 3.6m/s

参加者：60 人：子ども 7 人、大人 53 人（内土地改良区 0 人）

■活動

.....

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ、解散

■活動報告

ゴールデンウエーク初日の定例会に（株）トレミールさんから 14 名参加、一般ボランティアの方と会員で総勢 60 名の参加がありました。道路が大変混雑する中を都内、埼玉、柏、八千代、木更津方面からここを目指して到着するだけでも大仕事でしたでしょう。早い方は混雑を見込んで都内を 6 時半に出られ 8 時半には到着されていました。こうして心掛けて下さっていることに頭が下がります。

今月は土地改良区の皆さんは農繁期のためお休み。萱野さんも田植えの準備でお忙しい中を刈払機 6 台届けてくれました。古木さんと星野正人さんは土嚢 50 袋の運搬があるため茂原のカインズに向けて出発。

参加者の到着にばらつきはありましたが、9 時半には活動内容を伝えて手分けをして取りかかって頂きました。トレミールさん 5 名と初参加の高校生親子さんと大学生の外立さんと星野で進入路の盛り上がった土をシャベルやトンビ鍬で平らにする作業と土嚢を積んだトラックの待機を担当しました。皆さんスポーツをされていた経験もあってとてもパワフルでした。

土嚢を積んだトラックが到着、トレミールさんを中心に斜面のところに土嚢（25 kg×50 袋）を積み重ねました。会員も高齢となってきたのでこの作業は非常に助かりました。

また、他の皆さんには枯れ枝を焼却場に運んで頂きました。この作業は夏の暑い時期の草刈作業の負担を少なくするためセブン-イレブン記念財団の助成金で自走式刈払機（ハンマーナイフ）を購入させていただきました。出来るだけ除草作業の効率化をはかるためですが、木や枝やクズの蔓があると機械に巻き込んでしまいトラブルになるのでお願いしました。お陰できれいになった森の中は若葉色の光のジュータンとカーテンのようで癒されます、とそこへオオスズメバチが苗木の幹でしきりに動き回っているのを大隅さんが知らせてくれました。近くのスズメバチトラップ 3 基には、女王バチが大分捕獲されていてまだ中で生きているので迫力満点。

休憩の頃、岡本さんと片岡さんが掘りたてのタケノコを持ち帰って来られました。岡本さんのお知り合いの竹林は広すぎて迷いそうなところだとか。旬のタケノコの差し入れに感謝です。

休憩後、南側斜面の草刈をトレミールさんをお願いして充電式の刈払機で下から上に刈ってもらいました。また、50 本の支柱を立てたのですが、斜面は急でところどころ崩れていて足元に注意が必要でした。

来月完成を予定している井戸用ポンプに小学生の男の子が水の汲み出しに挑戦。結構力があるので子どもでは無理だと思っていたのに見事池まで水が流れていました。身近な自然が少なくなっていく中、本物に触れるいい体験ができたでしょうか。

汲み上げた水でシャベルや道具を洗い解散となりました。森で今日採ったワラビ、シイタケ、タケノコは参加者へのお土産に春の味覚をほんの少しお裾分けです。皆さん、遠方よりご参加いただきまして本当に有難うございました。

(記録：星野静枝)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、5 月 24 日（土）（雨天の場合 5 月 25 日(日)）9:00～12:00

グリーンウェイブ植樹祭を予定しています。是非ご参加下さい。



集合写真



枯れ枝の片付け作業



小枝は一輪車に積んで





土嚢を積んだトラックが到着



崖崩れ対策のための土嚢積み



50 袋の土嚢があつという間に積み終わりました。



整地作業





ワラビを手にした表情がいいですね。



スズメバチトラップ



捕獲されたスズメバチ



休憩



シイタケの収穫



ヤマザクラエリアの除草作業



グリーンウェイブ植樹祭用苗木の支柱立て



剪定バサミで斜面のノイバラを除去



ノイバラを伸び放題にすると簡単に入ってはいけない



掘りたてのタケノコの差し入れ



タケノコはジャンケンでおみやげに



シイタケもジャンケン



金井理事長の挨拶で解散



二ホンスミレ



虫を探しているスズメバチ



池にアライグマの足跡



トレイルカメラに映ったキジ